



## JR東日本テクノロジー株式会社

JR East Rail Car Technology & Maintenance Co.,LTD

製造事業本部 よした ゆきひろ 吉田 行廣

### 1. 会社の沿革

2015年4月にJR東日本グループ(車両部門)の東日本トランスポート株式会社と東北交通機械株式会社が統合し、JR東日本テクノロジー株式会社として新たに事業をスタートしました。

会社名：JR東日本テクノロジー株式会社  
(JR East Rail Car Technology & Maintenance Co.,LTD：略称 JRTM)

代表取締役社長：中井 佐敏

本社：〒171-0021

東京都豊島区西池袋一丁目11番1号  
(メトロポリタンプラザ21階)

創業：1968年4月1日

資本金：2億円

社員数：約1,700名

売上高：261億円(2015年度計画)

ホームページ：<http://www.ttech.co.jp>

### 2. 事業紹介

JR東日本の新幹線・在来線の車両保守、車両改造、検修設備工事と保守、在来線車両製造等、及び各地の鉄道会社の車両保守・改造工事・検修設備等の業務を通じて鉄道関係機能の発展と鉄道事業者への貢献を目指しています。

JR東日本グループ経営構想Vの「第4の柱」：車両製造事業展開を図るため、JR東日本グループの総合車両製作所新津事業所(以下J-TREC新津事業所)の製造現場業務の約75%を当社新津事業所が担い、製造各プロセスの品質向上、コスト低減、業務効率化を進めると共に、グラインダーロボット導入などにより業務付加価値向上に取組み、J-TREC新津事業所の製造を水平分業し、JR東日本グループの事業展開の一翼を担っています。更に製造準備の機能と仕組みを強化し、製造プロセス毎の製造能力を向上すると共に、製造技術の革新を提案し、製造の根本的な効率化を推進していきます。

車両部品製造は当社の江南工場、阿賀野製造センターで行っており、J-TREC新津事業所の製造工程に確実に部品を供給すると共に、VEを推進して製品仕様・機能性の最適化に取り組んでいます。主な製品として、JR東日本E129系車両(新潟エリア)に採用された天井ダクトは吹き出す風の角度・強さ・バランスの検証、結露・振動・騒音等の基本構造機能を検証し、かつ既存車のメンテナンス状況を反映した構造としています。車両の乗降用ドアは首都圏の朝夕通勤時の使用頻度、耐荷重などに対応する製品として、溶接・接着・防水・断熱・結露防止などの技術を駆使して製品強度・機能を検証して採用いただいています。

当社は製造・メンテナンス・廃車までの車両ライフサイクルの全体を担う会社です。膨大なメンテナンスデータや経験を基に、常に製造視点で製造プロセス・部品製造を革新していくことが私ども製造事業本部の役割と考えています。今後も鉄道事業者の製造グループの一員とする視点、製造業の視点で顧客満足度を高める製品を創造していきます。



E233系車両乗降ドア  
(江南工場)



グラインダーロボット  
(新津事業所)

### 3. おわりに

JR東日本グループの一員として安全で豊かな社会の実現を目指し、その原動力となる車両と検修設備の関係機能を向上させ、鉄道事業の信頼向上と安定輸送を支援して社会に貢献してまいります。



江南工場全景